

2025. 3. 3 紙飛行機の楽しみ方とは

年長保育室で、ここ最近数名の男児らが紙飛行機を作って飛ばして遊ぶ姿が見られました。以前 Facebook で紹介した廊下での紙飛行機遊びがいろいろな形を変えながら続いています。

そこで、朝の会で「実は紙飛行機っていろいろな作り方があってさー」と紙飛行機の種類を一部紹介をしました。「いか飛行機、知ってる！」「やり飛行機のほうが飛ぶよ！」「デルタって何？」と次々とつぶやく子供たち。宇宙好きの Y 男は、「デルタロケットっていうのがあるんだよね…」とつぶやきます。自分の知識とつながっていきます。

好きな遊びが始まると、いつもよりも紙飛行機作りをする子が増えています。

紙飛行機名人の I 男は、さっそく「デルタ」を作ります。そして、「ちょっと羽を変えようかな」とギザギザばさみで羽の部分の部分を切っていきます。彼なりのこだわりです。デルタはカーブしながら飛ぶようです。そして、次はいか飛行機を作ります。すると、真ん中後方に小さなウィングがついています。「こっちのほうが飛ぶんだよねー」とこれまたこだわり。

その日のみんなの時間。I 男を始め紙飛行機を紹介する子が多くいたので、全員で好きな紙飛行機を作ってみることにしました。「白い紙の方が飛ぶよ！」「えー、折り紙の方が飛ぶよ！」と論争が始まります。「バランスが大事でさ」と手を広げてバランスを平行に保つジェスチャーをしている子もいます。

その横では、持ち手をホッチキスで止めた方が飛ぶのか、止めない方が飛ぶのかの話をしている姿も見られます。みんな自分なりの予想を立てながら、言葉にし、実際に試しています。

外で、雪に向かって紙飛行機を飛ばし、雪にささる様子を楽しんでいる子もいます。

その横では、紙飛行機にマジックやシールでデコレーションしていく女の子たち。ハートやダイヤなどいろいろな模様も書いてあり、可愛いです！

その横では、折り紙で大量に細い紙飛行機を作る A 子。「この『ほそほそ紙飛行機』が一番とぶんやよ」と言いながら作っています。でもガムテープの空芯にさしていくと「なんかお花みたいになった！」と嬉しそう。廊下でも飛ばしていましたが、最終的にタフロープで結び、花束になっていました。

次の日、宇宙好き Y 男は、やり飛行機を作り、「めっちゃ飛ぶ！」と喜んでいます。そこに「もっと『ステルス機』っぽくしたらもっと飛びそう！」と灰色のビニールテープを付け始めました。ビニールテープのツルツル感がいい感じ。できあがるのさっそく期待を込めて投げてみます。すると、飛ばない。「あれ？」「そうか、重くなっちゃったんか…」と Y 男。

その日のみんなの時間で、Y 男はもう一つ紙飛行機を作って、「こっちはよくとぶ紙飛行機！そしてこっちは飾り用の紙飛行機です！」と二つ紹介していました。

紙飛行機の楽しみ方とは、飛ぶのももちろん面白いし、そこには遠くに飛ばすためにいろいろな試行錯誤が生まれます。その中で自分なりの答えを導いていくのかもしれませんが。でもよく見ていると、そのデザインや形に興味をもち、ディテールにこだわる面白さもあります。飛ぶだけじゃない面白さ。

また教師は遊びの流れを見ながら、朝の会や好きな遊びの時間、みんなの時間と様々なタイミングで新たな提案をしたり、問いを投げかけたり、共有したり、価値づけをしたりしていく。その中で一人の紙飛行機の対す

る「好き（愛）」が周囲に波紋のように広がっていく。その広がった先に、また新たな出会いや気づきが生まれ、多様な形で遊びが展開されていく。ある意味、そのサイクルの大切さも改めて感じています。

昨日は、I男はブーメラン飛行機作りに夢中でした。それは「I男スペシャル」と名前が付けられ、なぜか日本の国旗が書いてあります。横には英語も書いてある。「ANA」を真似してか。彼なりの世界がさらに広がっているような気がして、見ていてこちらもワクワクしました。ちなみに、その横でY男の新型紙飛行機にはイタリアの国旗が書いてありました。国旗の世界にもつながっていくのでしょうか。

また、A子は鉄棒でこうもりふりをしながら、紙飛行機を飛ばしていました。自分なりに勢いをつけて投げる方法を考え、その答えの一つが「こうもりふり」。これもまた面白い！紙飛行機も奥深いですね。

